

会議等結果報告書

会議区分	会議	打合せ	協議	文書番号	安政推第号
				決裁期日	令和7年12月16日
名称	令和7年度 第3回安平町未来創生委員会				
日時	令和7年12月11日 午前・ <input checked="" type="checkbox"/> 午後 1時30分～3時15分				
場所	総合庁舎 大会議室				
出席者	委員 11名 外部有識者 2名 事務局 (政策推進課) 課長補佐以下3名				
会議概要	<p>1 閉会 (進行:事務局)</p> ◇過半数以上の参加により委員会が成立していることを宣言 ◇委員長挨拶 <p>2 自己紹介</p> ◇前回欠席委員より <p>3 議事</p> <p>(1) 前回の振り返りと本日の議題の確認について</p> ◇資料に基づき説明: 事務局 ◇質疑応答要旨				
	<p><質問者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし 				
	<p>(2) 安平町過疎地域持続的発展市町村計画の変更について</p> ◇資料に基づき説明: 事務局 ◇質疑応答要旨				
	<p><A委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・P24 追分は小中一貫教育で良いのか? 小中連携では? ・P39 追分4号線のほかに5号線を加えるべきでは? ・P63 郷土資料館の文言も含めてほしい。 				
	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな意味では、小中一貫校に当てはまる。 ・5号線については担当へ確認する。→確認の結果、過疎債対象外路線 ・郷土資料館は、最終的な在り方を現在検討中。 				
	<p><B委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・P39 安平地区も未舗装のところがある。計画的にやってほしいし、その計画を事前に示してほしい。移住者も増えているので、道路がぬかるむなどないようにしたい。 				
	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画は持っているところではあるが、どこまで明確に出すことができるか、予算の兼ね合いもあり難しい状況がある。 				
	<p><C委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・P49 ③しうがい者福祉の「老朽化する障がい者支援施設の建替え支援を行ながら」とあるが、これはフモンケの施設の話だと思うので削除となるか。 				
	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課へ確認し、対応したい。 →確認の結果、ご指摘のとおりのため削除する。 				
	<p><D委員></p>				

・移住について、住む場所は民間住宅などの供給を増やしているところはわかるが、早来地区において学校定員に対して超過している。追分との移住バランスをとってはどうか。

◇事務局>

- ・定員の超過とそれに対する緩和策については、現在検討中であり「追分地区の環境教育の整備」という言葉にしている。
- ・住宅政策については、追分地区とのバランスを確保して進めていく方針

(3) 第3次安平町総合計画策定について

◇資料に基づき説明：事務局

◇質疑応答要旨

◇A外部有識者>

- ・子ども達（特に小中学校で）の機運は？次回、子どもたちの声を紹介してほしい。

◇事務局>

- ・2校ある中学校の3年生の授業にお伺いして総合計画やまちづくりについてお話しさせていただいている。次回、中学生の意見なども披露したい。

◇E委員>

- ・あびらチャンネルに放映できないか？子どもたちも、結構見ている。

◇事務局>

- ・情報担当と相談しているがスケジュールがないため2～3月に流す準備をしている。

◇F委員>

- ・力的な人などあってポテンシャル大きいし、興味を持っている人が一定数いるが、普段巻き込んでいない人を巻き込むとより魅力的な町になる。人口目標が減ってしまうので、もっともっと巻き込むことで高い目標が設定できるのではないか。

◇事務局>

- ・様々なコンテンツ、既存の機会を活用しながら進めていきたい。
- ・人口目標については、現実路線で設定させていただいている。

(4) 安平町デジタル田園都市国家構想総合戦略について

◇資料に基づき説明：事務局

◇質疑応答要旨

◇質問者>

- ・なし

(5) 令和6年度における各種交付金事業の効果検証について

◇資料に基づき説明：事務局

◇質疑応答要旨

◇G委員>

- ・リスクリリングの技術定着のみで企業との協力はないか？当社としても、ぜひそういった人材を求めてるので連携させていただきたい。

◇事務局>

- ・まさにKPIの4番がそれである。大変心強いお言葉をいただいたので、ぜひ担当と情報共有させていただきたい。

◇D委員>

- ・まさにそのリスクリリング事業の短期プログラムに参加したが、いざ仕事をどのように取っていくかは大変大きな課題であると感じた。

◇事務局>

- ・担当へ課題感を共有させていただきたい。

◇H委員>

- ・短期に参加したが、中期・長期はどのようにつながっていくのか。スキルの対象の幅がかなり広いというのが感想。さらに仕事へのつながりやすさがあれば良いと感じる。

<事務局>

- ・担当へ課題感を共有させていただきたい。

6 その他

◇全体的な質問等について

<B外部有識者>

- ・総合計画で感想を。追分小中学校のことは、将来のプラスになる要素だと思う。
- ・総合計画の広報について、総合計画自体町民が理解しづらい部分も多いので続けていただきたい。

<事務局>

- ・広報については、継続していくべく進めていきたい。

<E委員>

- ・移住定住や教育のことについて、移住した後のアフターケア、相談先として学校や子ども園に向くことが多い。

<事務局>

- ・日ごろから第一義的に対応していただいていることについて感謝。

<B委員>

- ・防災スピーカーからの声が聞こえない。通知方法をもう1回考えた方が良いのではないか。

<事務局>

- ・機器更新の時期を迎えており、その辺の対策も検討中である。

<G委員>

- ・教育子育てのイメージ大きいが、福祉の町としてのポテンシャルも大変大きくあるので、福祉も充実していることをPRしてもよいのでは。

<事務局>

- ・第3次総合計画にて、改めて検討していく。

<H委員>

- ・安平町は、位置情報や人流データの活用を専門とするIT企業と協定を締結し、人流測定の実証実験を実施し地域の課題解決に向けたデータ利活用に取り組んでいることと思うが、実験から見えてきたものは。

- ・現在安平町が協定を結んでいる法人等、および協定内容と具体的な取り組みを一覧表にまとめていただけないか。

<事務局>

- ・今年の2月から3月の1ヶ月間安平町役場総合庁舎エントランスにセンサーカメラを設置し「時間帯ごとの人数・性別・年齢層」をカウントして数値化したことで、来庁者数をデータ化することができた。

- ・一覧について、委員へご提供する。

<H委員>

- ・町内の散策路等の整備状況と利用状況について現状は。

<事務局>

- ・鹿公園の散策路を町として整備しており、来) 年度の事業に係る予算案を作成している最中であるが、散策路整備に関するものはなかったのが現状。

- ・利用状況は、散策路に限っての状況を押さえていないが、公園全体の利用（キャンプ利用客+公園利用）はR7. 4～10月の管理人在中期間で延べ13, 115名。

<H委員>

- ・外国人が増えていると思いますが、何人くらい住んでいるのか。
- ・近年、国内の一部地域で外国人との生活習慣の違い等でトラブルが発生していると耳にするが、町内ではトラブルがあるか。
- ・コミュニケーションの場を設けるなどの施策は実施しているか。

<事務局>

- ・本年10月末現在の数値で、172世帯204名（男性143名、女性61名）

- ・かつて公営住宅の関係で、混み処理や騒音の問題について近隣住民の方からご連絡い

ただいている事例がある。

・場の設定については、現状設置されていないが、在留資格の「特定技能」をもつ方を雇用する企業や個人を指す「特定技能所属機関」が「協力確認書」を居住地の自治体へ提出するという運用が本年4月より開始されたことから、連絡調整を図ることは可能な状況になっている。

7 閉会 (15 : 15)

以上